

新制度～こどもデイサービス～の人材育成研修

特定非営利活動法人バリアフリーセンター・福祉ネット「ナナの家」

〒201-0004 東京都狹江市岩戸北 3-1-8

助成事業の概要

「ナナの家」では、職員、家族、地域の人々を対象に、障がい児の立場に立った視点を身につけるための研修会や、職員のための外部研修会を大切にしています。

特に25年は日社済のご助成により、外部向けの研修の後に、職員との質疑応答の時間も設けるなど、大変丁寧な研修会を重ねることが出来ました。具体的には以下の活動を行いました。

「ナナの家」主催の研修会

赤塚先生コーディネートによる研修会

支援の視点～一人ひとりのすこやかな育ちを支えていくために～（9/28）

障がい者と性～幼児期から始める性教育～（1/25）

小林先生のスタッフトレーニング（5/11、6/15、7/13、9/7、10/5、11/23、2/22）

小笠原先生のこどもデイサービス見学とケース会（6/26、8/27、11/15、3/10）

外部研修

紅葉台障害者乗馬研修（6/29、7/6）、東京都障害者通所活動施設職員研修（7/17）、食品衛生責任者講習会（6/21、7/19、9/5）、アレルギー研修（8/20）、日本発達障害ネットワーク第9回年次大会（12/1）、第31回日本感覚統合学会研究大会（12/7、12/8）、感覚統合療法入門講習会基礎コース（3/29、3/30）

気になるこどもの通所先見学

「ナナの家」通所者が通う小中高校の学校公開の機会に職員が参加して通所者の学校での過ごし方

を見学しました。

事業の成果

まず、こどもの立場に立った支援の視点を、岩崎先生の豊富なご経験と深い愛情に満ちた対応を通し学ぶことが出来ました。会員と職員には事前に「支援の視点」という資料を読んだ上でアンケートを提出してもらいました。当日会場でも質問票を集め、それに先生に回答していただきました。先生に失敗談をお尋ねすると、保育中に電話がかかり、他の職員に担当児をお願いして席を離れたことがあったそうです。あの時、その子に向けて「電話に出てくるから他の先生に来てもらうね。」と言うべきだったと話されました。このように子どもと向き合う視点を、私たちの支援の基盤に据えることができたのは非常に大きな成果です。障がい者と性の特化したテーマの研修会も、基本は全く同じだということを知りました。性は生活する上での権利であり、プライベートとパブリックの違いを理解することの大切さを教わりました。

小林先生のスタッフトレーニングでは、子どもを受け止め、ゆっくりと育てていく方法を学びました。否定語を使わずに肯定語を使う。ほめる時には、25%できた時から始める。そんな具体的な子どもとのやりとりを、子ども役、お母さん役などに分かれて演じることを通し、更に子どもの目線に立つことを実体験しました。その後、発達年齢の学習も行いました。とかく年齢に囚われて、本当の発達年齢を見落としがちなことを知りました。

小笠原先生には、ハードな事例について、実際に見学に入っていた上で、質疑応答する時間をとっていただきました。これにより、どんな大変なケースでも、みんなで共有し合うことができるようになり、更に困った場合には、先生に助言を仰ぐことができるという安心感を得ました。

外部研修で得たことは、職員会議で報告され、全職員で成果を共有できるように努力しました。良い研修と出会うことの多い年となりました。

■ 成果の広報、公表

研修会の内容は、趣旨や内容、アンケートなどを報告書にまとめて、後援団体や関係者に配布します。研修会の醍醐味である、活動に生かした成果は、支援員が毎日のブログにアップします。毎月発行されるニュースレターにも記事を掲載します。

市内の自立支援協議会の会合や、事業者連絡会、NPO 連絡協議会などでも報告します。

「障がい者と性」の研修会は、所属する放課後連絡協議会でも注目し、企画を続けているため、話題にします。

■ 今後の展開

研修会の一番恵まれた形は、オープン形式の研修会の後に、講師の先生と職員とで質疑応答する時間が持てることでした。主催するのは大変ですが、実際に私たちが支援する子どもたちに役立てることとつながると、充足感が得られます。できることでしたら、この形を継承していきたいと考えます。

毎年新しい職員が加わってくるため、支援の視点を確認するための研修は必須です。その上で、今後は行動問題へのアドバイスと共に、制度の問題、知らずして行われている虐待、実践として活

用できるプログラムの事例なども企画していきたいと考えています。

成果は毎日のブログの活動報告に生かしていきたいと思います。

人が人を育てます。豊かな研修は、職員を豊かにし、それが子どもたちの成長に役立つことと信じています。